

「生命科学と異分野との融合部門」は以下の通り変更しました。

昨年度

生命科学と情報学、工学、材料学などとの融合

〈研究分野〉

- D1 生体情報系
- D2 生体医工系
- D3 生体材料系



本年度

健康と医療を支える新たな技術の創出を目指す、
情報学、機械学、材料学をはじめとするあらゆる
異分野と生命科学との融合領域
これまでの学術の体系や方向を大きく変革・転換
させることを志向し、飛躍的に発展する潜在性を
有する研究が対象

〈研究分野〉

- D1 情報系
- D2 機械系
- D3 材料系
- D4 その他